
ウサギとカメ

悲劇のM

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ウサギとカメ

【Zコード】

Z2677E

【作者名】

悲劇のM

【あらすじ】

ウサギとカメがかけっこ勝負！勝利はどちらの手に？

昔々あるとこで、いつも喧嘩ばかりしているウサギとカメがいました。

ある日、ウサギはカメに言いました。

「カメさん、俺達このままがみあっても意味ないと思うんだ。だから今度勝負して長年の決着をつけようじゃないか」

「いいけど、どんな勝負ですか？」

すると、ウサギは離れた場所にある山を指差して言いました。

「あの山まで競争して、先に山頂に着いた方の勝ちっていうのはどうだ？」

自分の脚力に自信のあるウサギは、自分に有利な勝負を投げかけました。

「いいですよ、私がウサギさんに負けるはずないじゃないですか」

「フン、言つたな。じゃあ勝負は1週間後だ。」

そして1週間後、ウサギとカメの勝負は観衆に見守られながら始まりました。

「カメさん、本当にいいのかな？今なら取り消しても構わないよ」

ウサギがニヤニヤしながらカメに聞きます。

「ウサギさんじや、後で撤回したりしないで下をこよ」

「一人とも、準備はいいかな？」

審判の猫が言います。

「はい」「はい」

ウサギとカメは声を揃えて言いました。

「では位置に着いて、ヨーイ・ドン！」

パン！と始まりの合図の銃の音が響きました。

ウサギはスタートダッシュを決め、もう観衆の目にませんでした。

一方のカメは「うう」と、のろのろと歩いて近くを歩いていたカタツムリに抜かれました。

これではカメの敗北は確定です。

しかし、カメは慌てる事なく一步一歩地面を踏みしめて歩きました。

「ふう～、楽勝だな」

途中の野道まで来たウサギが言います。

ふと、近くに給水所があるのが見えました。

かなり走って疲れたウサギは、その水を飲むことにしました。

その水は美味しく、ウサギの体力は回復しました。

「ふはあ～、美味しい」

すると、辺りを見回して言いました。

「カメの奴、ノロマだから少し休憩しても大丈夫だろう？」

ウサギはその場に横たわりました。

ウサギの目が覚めた頃には、もう夜でした。

「うわあ～、大変だ。カメはもう山頂にゴールしてるかもしない」

ウサギは不安にかられ、一目散に山頂を目指しました。

山頂に着くと、案の定カメはゴールしていく、観衆の皆と祝杯をあげていました。

「ぐ、くつそ～」

ウサギが悔しさに地団駄を踏みます。

「ウサギさん、この勝負私の勝ちですね」

「俺の負けだ。カメさん、俺は君を見直したよ」

「そういって貰えると光栄ですね。ところでどうでしたか、私の作った強力催眠薬の味は？」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2677e/>

ウサギとカメ

2010年12月30日00時59分発行